

令和2年度 幼稚園の人材確保支援事業（概要版）

（一社）新潟県私立幼稚園・認定こども園協会

背景

- ①新潟県における幼稚園教諭養成専門課程のある大学（2校）・短期大学（2校）の状況→県内養成校の出身者が少ない
- ②新潟県の地理的問題（県内大学でも下宿が必要な学生が大半）→大学(短期大学)進学希望者は県外、特に関東圏へ進学(人材の県外流出)
⇒**県内外問わず、新規採用は厳しい**
- ③幼児教育の質の向上による幼稚園教諭の定着→キャリアパス制度の効果的な運用による質の高い幼児教育の実践
⇒**離職防止・定着促進につなげる**

主な取り組み内容	成果と課題
<p>①幼稚園・こども園就職フェアオンライン2020の開催 【新規採用の促進・離職者の再就職促進 共通】 * WEB合同説明会(サイト)の開設 (1)加盟園情報の提供(園概要、求人情報、園見学、園動画等掲載) (2)プロモーションビデオ(希望者に対し限定配信) (3)現任教諭によるトークセッション動画(希望者に対し限定配信) (4)再就職/Uターン就職経験者によるインタビュー動画(希望者に対し限定配信)</p> <p>* 県内養成校との懇談会(年2回)の開催 合同就職説明会をオンライン開催に変更することの説明と学生への周知依頼(チラシ配布)、就職フェアオンラインとWEBサイト内容についての協議</p> <p>* 県担当部局との連携強化 県外大学に通う学生並びに離職した再就職希望者に向けた情報提供の協力依頼(チラシの配布・設置、県U・Iターン総合サイトの利用、東京都にある新潟県アンテナショップ等の利用)</p>	<p>◎新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止のため、開催方法を工夫し、従来型の会場対面形式からオンライン形式に変更したことで、移動時間と移動距離の制約がなくなり特に県外希望者の参加がしやすくなった。また、サイト掲載期間を長く設けたことで、希望者の都合に合わせて、いつでも何度でも参加することができるようになった</p> <p>◎参加者アンケートによれば、先生の1日の様子がわかるプロモーションビデオや現任教諭によるトークセッション、インタビュー動画により、やりがいや魅力がわかったほか聞きたかったわかり、不安が解消されとても参考になったという感想が得られた</p> <p>◎新潟県関係部局へ協力依頼し、県外学生へのチラシ配布や新潟県U・Iターン総合サイトへリンク等対応した結果、県サイトよりWEBサイトへアクセスした参加者があった</p> <p>課題 ・従来型の説明会のように直接話を聞きたいという参加者の意見があったことから、開催方法の検討やオンラインの場合にはリアルタイムで相談できる設定の検討が必要 ・PR動画やトークセッションの制作に際しては、多様な人材(男性教諭等)への配慮が必要 ・新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止対策のため、養成校での授業が対面ではなくオンラインが主流であったことから、学生への周知方法についてチラシだけではなくSNS等を利用する方法の検討が必要</p>
<p>②研修会の実施(年3回) 【離職防止・定着促進(働き方改革)】 (1)テーマ「保育の質向上のためのキャリアパスの運用について」 講師による講演 令和元年度キャリアパス導入調査協力園における実例報告</p> <p>(2)テーマ「労働時間に関する主要な法令と取り組み事例」 講師(社会保険労務士を選定)による講演 加盟園におけるタイムカード導入実例報告</p> <p>(3)テーマ「保育の質向上のためのキャリアパスの運用について」 講師による講演 令和2年度キャリアパス導入調査協力園における取組報告</p>	<p>◎講師の選定や研修内容を工夫したことにより、研修会の受講者アンケートによれば、いずれの研修においても85%以上が研修内容について満足、まあ満足と回答した</p> <p>◎取り組み事例や具体的なモデルを提示したことにより、80%以上が研修内容は離職防止・定着促進を図るための園の取り組み(対策)に役立つと思うと回答する大変有意義な研修を行うことができた課題</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況により参加者の感染リスクへの懸念等から会場集型の研修形式では目標値より参加者が少なかった。加盟各園より参加してもらえる研修会の開催方法について検討が必要</p> <p>・キャリアパス導入による保育の質向上や就業規則・職場環境の改善により離職防止・定着促進につながることを園のリーダーに周知・理解してもらい協会加盟各園においても導入を促すための方策の検討が必要</p>
<p>③キャリアパス導入園への運用支援 【離職防止・定着促進(働き方改革)】 調査協力3園において園の実情に合わせた講師による運用支援を実施</p> <p>(1)講師による講演 (2)WEB図づくり (3)個人並びに組織の課題や目標の共有化</p>	<p>◎調査協力各園の状況にあわせてキャリアパスに取り組んだことで、個人だけでなく組織の課題を見出すことが出来、改善につながるようになった。⇒意欲向上による離職防止・定着促進</p> <p>◎WEB図の共有化により、離職の要因である人間関係の希薄化の改善につながった</p> <p>課題 ・協会加盟園にキャリアパス導入を普及させるため、情報(実例)やノウハウの共有方法の検討が必要 ・各園の実情に合わせてキャリアパスを具体的に作成する研修の場の設定が必要</p>